

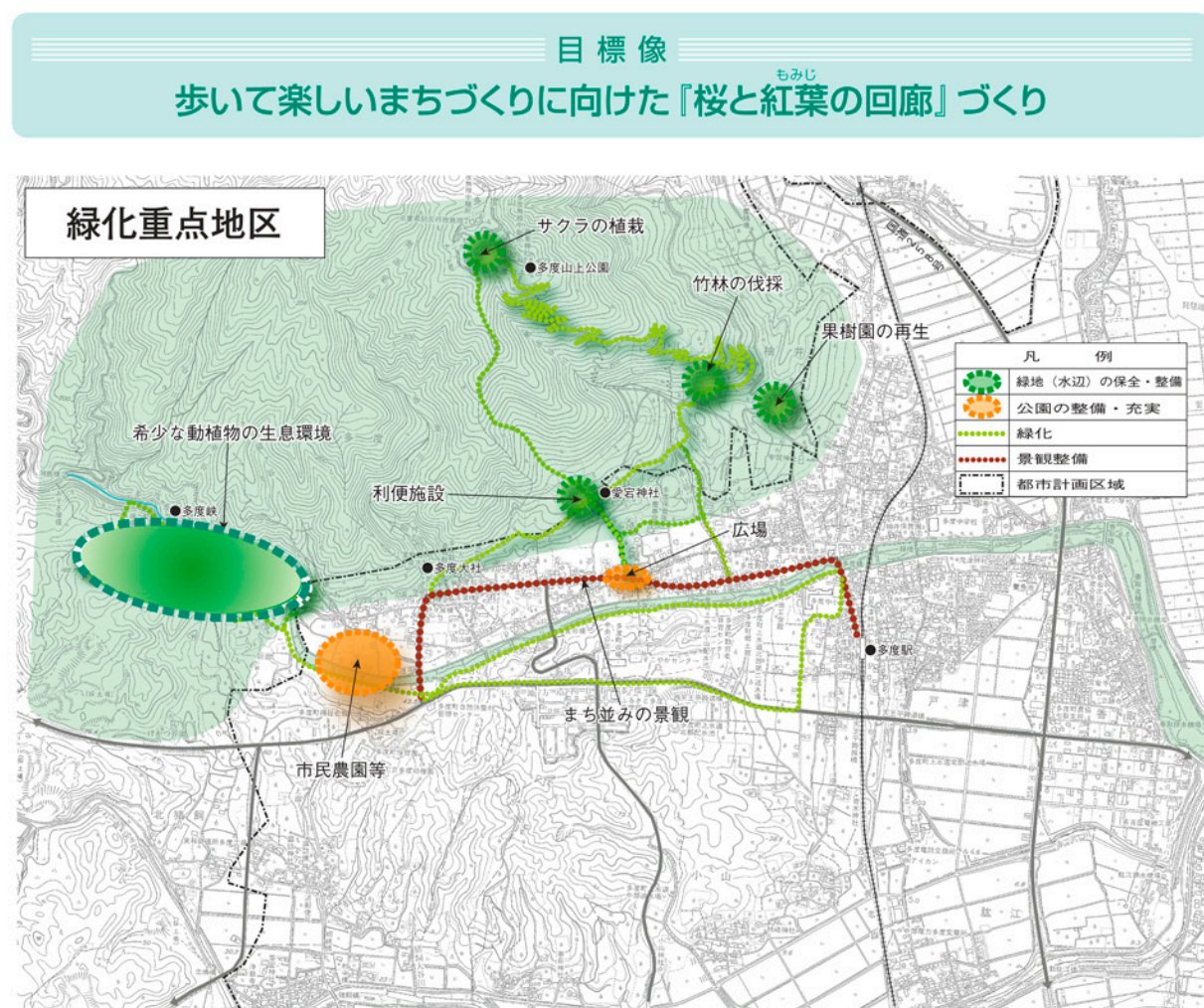
③緑化の推進

- ・住民やボランティアの協力を得ながら、多度山のハイキングコース、多度川沿いなどにサクラやカエデなどの植栽活動を実施し、四季を通じて様々な彩りを楽しめるような『桜との回廊』（散策路）づくりに努めます。
- ・土取跡地においては、緑地の回復を図るため、植樹などの促進に努めます。

④景観整備

- ・多度大社から多度駅までの参道において歴史的な街道や門前町の魅力を感じることができる景観整備を行い、まち並み散策の魅力向上を図ります。

【図表9-2】多度山・多度大社周辺地区の緑化計画



3 輪中の郷周辺地区

(1) 地区の現状

地区内では国営木曾三川公園として、木曾三川公園カルチャービレッジなどの公園緑地の整備が進められています。また、自然とのふれあいや体験、遊びの場を提供する水郷の森～「水辺の楽校」の整備が進められています。

また、地区内には、水屋等の輪中地帯特有の景観が残る田園風景などが残っており、この「輪中」をテーマに地域の歴史・文化・産業を紹介する輪中の郷も整備されています。

(2) 地区の課題の整理

①保全すべき緑地

- ・全域が水郷県立自然公園に指定され、木曾川などの水辺の自然環境があり、貴重な生物の生息環境になっています。これらの自然環境を生かして市民に自然とのふれあいができる場や機会等を提供しながら、保全していくことが求められます。
- ・地区内には都市近郊農業地帯として多くの田園が残っており、これらを保全していくことが求められています。

②緑化が必要な場所

- ・長島地域は全域が海拔ゼロメートル地帯であり、伊勢湾台風をはじめ、多くの災害に見舞われています。そのため、防災公園の整備や緑化の促進を図りながら、水防・防災機能の充実を図るとともに、緑豊かな環境を形成していくことが求められます。
- ・また、市民の文化・スポーツ活動の振興を図るため、地域の歴史や文化を紹介する輪中の郷、地域のスポーツ活動の拠点となっている長島運動公園などの充実を図るとともに、上記の防災公園などの整備にあわせて緑化を図ることが求められます。
- ・長島インターチェンジからカルチャービレッジや輪中の郷などに訪れる来訪者を迎え入れるため、地域性のある樹種等による沿道緑化を図るなどの魅力環境づくりも求められます。

(3) 地区緑化の基本方針

①防災拠点づくり

- ・防災活動の拠点となる防災拠点づくりを進めます。

②生き物のふれあいの場づくり

- ・貴重な自然環境を次世代に継承するため、子どもたちなどが生き物とふれあうことができる場づくりを進めます。